

岩手県公立学校退職校長会

盛岡会だより

第230号



■発行年月日：令和8年7月1日（水）
■発行：岩手県公立学校退職校長会盛岡地区会
■事務局：☎020-0108 盛岡市東黒石野1-6-31
■印刷所：(有)セーコー印刷 盛岡市下ノ橋町2-23

代表 吉川 健次
TEL 019 (662) 5501
TEL 019 (651) 3606

校歌に寄せて

第24班 横沢 幹雄

昨年3月、中学校で苦楽を共にした友から、予期せぬラインメツセージが届いた。添付されていた一枚の写真に目を見張った。画面中央奥に岩手山。その姿をかき消すように、画面右下からもくもくと立ち昇る白い煙。それは、東洋一の硫黄鉱山、松尾鉱山の硫黄精練所に立ち並ぶ、十数本の巨大煙突の煙であつた。標高約千メートルの山々に広がる懐かしい光景を見た時、松尾鉱山中学校の校歌が脳裏に浮かんだ。

校歌は、学校法人松尾鉱山学園から松尾村立へ移管後の昭和32年に制定された、と「松尾鉱山学校小史」は伝えている。また「雲上の楽園」と呼ばれる程の昭和20年代後半の繁栄を象徴する四階建てスチーム暖房完備の11棟のアパート群と、白亜の殿堂を思わせる、二階建て蒲鉾型体育館と三階建ての校舎は、全生徒の誇りであつたとも伝えている。制定された校歌は松尾鉱山の躍動と、類まれな自然の豊かさや厳しさを生徒の心に刻み、心の糧となつて歌い継がれていたに違いない。

しかし、隆盛を誇つた松尾鉱山も、業績悪化が重なり、昭和42年8月には希望退職者が893名に達し、多数の友が県内外へと去つて行つた。残つた友と校歌を最後に歌つたのは、昭和43年3月の卒業式である。翌年の11月



松尾鉱山中学校校歌

尾沢喜雄 作詞

千葉了道 作曲

一 岩手の富士をまなかいに
起き伏す山の深みどり
気も澄みわたる頂に
若き力と希望に満ちて
わが学び舎は建ちにけり

三

聞け坑道の奥深く
巨岩にいとむのみの音
いざや不屈の精神もて
自らを立て真理をきわめ
栄えある光掲げなん

二

春すずらの香るにおい
秋はもみじの色はえて
自然の恵みゆたかなり
われらむつみて心をあわせ
三年の業を積みゆかん

には、従業員全員解雇。実質の閉山状態となる。昭和45年3月15日の閉校式で、校旗は松尾村に返納され、校歌は、卒業生の心の片隅に置かれたままとした。

卒業から36年後の平成16年に、神奈川県在住の友から思いもよらぬ話が寄せられた。関東在住の鉱山中仲間が「昭和43年卒同期会」の開催を求めているというのである。再び校歌を歌う機会を得たと思ひ、幹事役を引き受けた。5クラス分の住所調べに苦心したが、卒業生39名、恩師10名による盛岡での開催にどうにかこぎつけた。東京・神奈川・埼玉・千葉・群馬・長野・静岡・大阪、と県外からも19名が集つた。旧交を温めた後、恩師の伴奏により校歌を斉唱した。胸が震えた。校歌は、同期生たちの心を一つにした。

開催が、アテネオリンピックの年であつたことに触発され、次回からオリンピックの年に同期会を開催することになる。北京とロンドンの年には、八幡平ハイッに宿泊しての同期会を企画した。校歌で会を閉じた翌日は、参加者のほとんどがこぞつて松尾鉱山跡へと向かうこととなった。

リオデジャネイロを経て東京オリンピック開催の年に同期会の終了を予定していたが、コロナ禍のため延期を重ね、初回から18年目の令和4年の開催が、最後となった。最後の同期会は、お互いの古稀を祝う会となった。最後に、万感の思いを込めて校歌を斉唱した。校歌を歌う時、心は時空を超え、中学校時代に帰るからであろうか、70歳を迎えたとはいえ凛とした歌声が会場に響いた。この時の校歌を録音しておかなかったことが、今も悔いとして残っている……。

校歌は、卒業生にとって魂のふるさとなのである。

令和8年度 盛岡地区会定期総会

日時 令和8年5月16日(土) 15時～16時50分
会場 サンセール盛岡 参加者49名

冒頭、昨年度ご逝去された11名の物故者に対し全員で黙祷を捧げた。

1 開会のことば 菅原 壽 副会長

2 会長挨拶 吉川 健次 会長

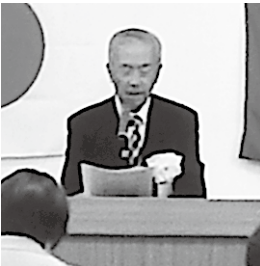
昨年は、退職校長会結成60周年の記念式典と「県研修・親睦会盛岡大会」に班長さんにも実行委員に入っていたいただき、180名の会員の参加のもと、盛大に開催できましたこと心からお礼申し上げます。

今年度は15名の班長さんが代わられます。これまでの班長さんには感謝するとともに新班長さん方どうぞよろしくお願いいたします。

そしてこの春21名の新加入の方々が大きく歓迎です。本日は3名総会に参加いただいております。(一人ずつ紹介)

本年度の事業としては、県の総会で議決したところですが、会費は変えない、会報は年4回から3回に変更、これによって会員の絆を弱めないために「退職校長会ホームページ」を開設するという事で、地区会も同様に活動を推進します。班

長会は年2回、この指とまれ事業、秋の研修・慶祝会の開催を予定しております。今年度もよろしく願います。



総会で挨拶する会長

3 感謝状贈呈

・第3班班長 千葉 史夫様(班長11年間)
・第11-1班班長 中川 誠悦様(班長8年間)
総会ご出席の千葉様に吉川健次会長から感謝状と御礼の品が贈呈され、同氏より退任の挨拶があった。

4 来賓祝辞

○盛岡市教育委員会教育長代理

参事兼学務教職員課長 澤口 良夫様
働き方改革や学校を取り巻く現状の変化に対応し、確かな学力の育成を目指して子どもの命と人権を守るため誰一人取り残さない教育の充実を図っていく。

○盛岡市小学校長会会長

田代 航様
いじめや不登校対策に取り組んでいる。児童の個別最適な学びと協同的な学びの具体的な実践に努め岩手の教育をしっかりと受け継ぎ発展させていきたい。

―来賓紹介―

○盛岡市中学校長会

副会長

大越 淳様

○岩手県退職公務員連盟

盛岡支部支部長

太田代 政男様

5 議長選出

菊池 直氏

6 議事録署名委員委嘱

川村 久子氏

千葉 定子氏

書記指名 理事2名



菊池直議長

7 報告

(1) 令和7年度会務報告並びに収支決算報告
平政光事務局長が会務報告を、佐々木則子経理部長が収支決算報告を行った。

(2) 令和7年度会計監査報告

千葉史夫監事が、会計は適正に処理されている旨の監査報告をした。

8 議事

第1号議案「令和7年度会務報告並びに収支決算書の承認について」承認された。

第2号議案「令和8年度活動方針並びに事業計画(案)」について承認された。

第3号議案「令和8年度一般会計・慶弔特別会計・積立特別会計の予算(案)」についてそれぞれ承認された。

第4号議案「令和8年度役員選出について(案)」班長交代の15名の新班長と新理事の大林裕明氏(研修部)を会長が委嘱した。

第5号議案「この指とまれ」事業の実施について(案)提案通り承認された。今年度は7月末の実施予定で、後日案内文書を配付するのでたくさんの方の参加をお願いしたい。

第6号議案「平和を考える絵本プロジェクトについて」も承認された。今年度から必要経費は一般会計からの支出となった。贈呈先は市内中学校22校と関係機関2団体である。

第7号議案「その他」は提案事項なし

9 その他

HP(ホームページ)の運用について

今年度から退職校長会のHPを開設する。今年度は試行期間とし、令和9年度からの本格運用を目指して整備中である。ご覧いただきご意見ご要望を寄せてほしい。

10 閉会の言葉 菅原 壽 副会長

新会員歓迎親睦会 参加者40名

定期総会終了後、サンセール内の隣室に会場を移し、令和8年度新会員歓迎親睦会が開催された。

新会員は5名に参加していただいた。来賓3名を加え総勢40名の参加を得ての親睦会は、お酒を酌み交わして盛大に行われた。会の進行は厚生部の熊谷雅英部長と鳥羽真喜子理事が担当し、菅原壽副会長の開会のことばに続き吉川健次会長の挨拶があった。

「新会員になられた21名の皆様、大歓迎いたします。本日は歓迎の意を込め皆さんで楽しく大いに飲み、懇親を深めてほしいと思います。今年度計画している事業にもたくさんの方に参加していただき、皆さんと一緒活動できることを楽しみにしております。」

○新会員紹介



左から佐々木康隆氏、及川公子氏、君塚裕子氏、高橋由佳氏、有馬賢氏

出席された新会員の5名は壇上で紹介され、それぞれの勤務状況やこれからの抱負等話を話された。乾杯は、盛岡市中学校校長会副会長、城西中学校校長の大越淳様をお願いした。懇談は6卓のテーブルを移動しての新会員への激励や懐かしい仲間との歓談などで大いに盛り上がり、終盤には昨年に引き続き西郷晃氏のギター伴奏で『乾杯』『青い山脈』『ふるさと』を皆さん声高らかに歌い上げた。最後は木村幸治顧問の万歳三唱で新たな年度への決意を込めて閉会した。

令和8年度 第1回班長会

日時 令和8年5月21日(木) 15時
会場 岩手県公会堂 参加者49名

第1回班長会は、先に行われた盛岡地区会定期総会の内容を最前線で活動する班長各位に共通理解していただくものである。

○会長挨拶

今回班長は15名が交代となります。(班長15名を紹介)班長は会員と本部とのつなぎ役を担っていただく重要な役です。昨年度は60周年記念事業で班長さん方に実行委員として活躍していただいたことに感謝申し上げます。

会員数は、新会員21名を加えて450名です。地区会の活動として日本教育会との合同研修会、この指とまれ事業、秋の研修・慶祝会を計画していますが、多くの方々にご参加いただき会を盛り上げていただきたい。

○新班長の紹介並びに委嘱、役員紹介

第1班・菅井雅之氏、第3班・陳ヶ岡安雄氏、第9班・佐々木真氏、第11・2班・田中吉兵衛氏、第13班・千葉定子氏、第17・1班・

佐久山明彦氏、第17・2班・加藤孔子氏、第20班・内田興子氏、第22班・小笠原洋子氏、第24班・横沢幹雄氏、第30・2班・谷地畝稔氏、第30・4班・今野洋明氏、第31・1班・菊池明氏、第32班・田村敏実氏、第34班・山崎伸一氏の15名が委嘱された。

役員は研修部に大林裕明氏が新理事に、また今年度より佐藤精晋理事が総務部に移りHP担当となり、全理事の紹介があった。なお、盛岡地区会HPは平理事が担当する。

○司会者選出

第33班班長の阿部道子氏を司会者に選出

○令和7年度会務報告

協議・・・協議内容は

先日の総会で承認されているので、各部からの提案内容を確認して追認する。

〈盛岡地区会の当面の課題について〉

- ・会員の計報が入ったならば可能な限り早急に事務局(平)宛に電話報告をお願いしたい。
- ・会費免除会員は、現在9名。免除会員についての規定は「60周年記念誌」の20ページに記載されているので参照のこと。

〈各班の現状と課題〉

- ・19班から、会費の集金について振り込みにしてほしいとの会員の声があり、盛岡会として振り込みできないものか、という質問。↓会員と直接対面するよさもあり、班の事情に応じて方法を考えて実施してほしい。

- ・30・3班から会員名簿について個人情報詳細に明示されるのが心配という声あり。↓県でも話題になっており、今後内容や配付の在り方等について検討していきたい。



阿部議長

新入会員からひとこと

できることを確実に

第2-1班 野崎 祐司



これまで多くの皆様から温かいご指導とご支援を賜り、役職定年を迎えることができました。心より感謝

申し上げます。

4月からは盛岡市立見前小学校にて教諭として勤務しております。理科専科として、楽しく分かりやすく、そして安全な授業づくりに努めております。

この度の貴重な機会に感謝し、新たな出会いを大切にしながら、できることを一つ一つ確実に取り組んでまいります。

今後とも変わらぬご指導ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

新たな気持ちで

第3班 浅利 宏光



多くの皆様からご指導・ご支援をいただき、役職定年を迎えることができました。お力添えを賜りました。全ての皆様に感謝申し上げます。

4月より盛岡市立区界高原少年自然の家で社会教育指導員として勤務しております。この原稿を書いている時点で兜明神岳に4回登り、記憶力と体力低下を実感しながら、自然の中での勤務に喜びを感じております。

新たな職場、立場でも、これまでの学びをもとにお役に立てるよう努める所存です。よろしくお願いいたします。

新たな一歩

第12班 及川 公子



この度、たくさんの皆様のご支援、ご指導をいただきながら過ごした教員生活に区切りをつけ、退職を迎えることができました。これまでの出会い、私の生涯の宝です。

4月より、盛岡市玉山区公民館に勤務しております。幼児から高齢者までを対象とした社会教育の現場で、新たな一歩を踏み出しました。地域の皆様の温かい励まし、協力をいただきながら、日々努めております。

今後退職校長会の皆様には、様々な教示をいただきますよう、よろしく願います。

新たなステージで

第14-1班 高橋 由佳



令和8年3月に役職定年を迎え、4月より盛岡市立仙北中学校教諭として勤務しております。これまで男女雇用機会均等法施行や定年延長など「働き方」について考えさせられる節目があり、今回もかけがえのない経験をさせていただいたことを糧に新たなステージに挑戦してみようと考えました。

これまで多くの方々にご指導・ご支援いただいたことに感謝し、少しでも恩返しできるよう微力ながら努めて参りたいと思います。よろしく願います。

新しいスタート

第14-1班 桑 原 玲子



長いようで短かった38年間の皆様のおかげで、支えられました。私の38年間は、決して順風満帆ではなかったかもしれませんが、でも、何かあるたびに、教え導いてくださる方や励ましてくださる方がいました。本当に、上司に同僚に地域の方々、保護者の皆様、子どもたち、出会いに恵まれた教員生活でした。

第二の職場「松園地区公民館」は社会教育の現場です。新しい気持ちでスタートしたいと思えます。これからも、どうぞよろしく願います。

感謝と現在の私

第16班 大澤 滋



在職中は、皆様より多くのご指導とご支援をいただき、心より感謝申し上げます。子どもたちの笑顔と教職員とともに歩んだ日々は、かけがえのない財産です。

現在は理科専科として学校現場に復帰し、実験や観察を通して学ぶ楽しさを子どもたちと共有しています。授業に向き合う毎日新鮮で、教育の原点を改めて感じております。今後も微力ながら、岩手の子どもたちの成長のために尽くしてまいります。どうぞよろしく願います。

教職を楽しめるように



第16班 佐藤 修

これまで様々な方からのご指導・ご支援をいただき、無事役職定年を迎えることができました。心より感謝申し上げます。

4月からは紫波町立赤石小学校（拠点校）、岩手町立川口小学校（訪問校）で初任者指導をさせていただいております。初任者が自己肯定感を高め、笑顔で教職を楽しむことができるよう、温かい指導・助言に努めてまいります。反省ばかりの毎日ですが、私自身も新たな気持ちで教職を楽しんでいきたいと思っております。

今後ともよろしくお願いいたします。

新たな歩みへ



第16班 佐々木 康隆

昭和63年から38年間、たくさんの方々よりご指導、ご支援を賜りながら、何とか教員生活をやり終えることができました。心から感謝申し上げます。

4月より盛岡市立みたけ老人福祉センターに所長としてお世話になっております。

30年ぶりに、思いがけず、かけられた言葉があります。

「若いですね。」

むしろ、本施設ご利用の諸先輩方にこの言葉を返したい気持ちで一杯の毎日です。

これまでの縁も大切にしながら、新たな道を歩んでまいります。今後ともどうぞよろしくお願いたします。

子どもたちや先生方のために



第16班 川村 憲弘

多くの方々を支えていただき、長い教員生活を終えることができました。

思い出をふり返り、感慨に浸る間もなく、4月より盛岡市教育委員会に勤務しております。最後の勤務校が津志田小学校であったことから、ほぼ同じ経路での通勤となっています。

緊張を感じながらの日々ですが、職場に慣れた頃、油断して津志田小に向かうことのないよう、初心を忘れることなく、周りに迷惑をかけることなく、努めていきたいと考えています。

今後ともご指導のほどよろしくお願いいたします。

「感謝、そして新生活」



第20班 吉田 洋倫

昭和63年より38年間、多くの皆様にご指導やご支援をいただき、教員生活を終えることができました。

4月からは向中野児童センターで副所長として勤務しております。施設の管理運営や一般事務、庶務・経理等、慣れない業務にまだ右往左往しておりますが、学校とは違った形で子どもたちを支えられるよう努める所存です。

また、弟に任せ切りだった実家の家業にも本腰を入れ、これまでの感謝を表したいと思っています。

「もう少し 子どもと関わりたい」



第20班 内田 留美子

これまで、多くの皆様にご指導・ご支援をいただき、無事役職定年を迎えることができました。ささえてくだ

ださった教職員の皆様・保護者の方々・地域の方々に深く感謝申し上げます。

もう少し、子どもと関わる仕事をしたいと思いますが、盛岡市立飯岡小学校で短時間ではありますが、勤務しています。

子どもの成長を温かく支援していきたいと思っております。

新たな環境の中で



第24班 廣澤 正紀

37年間の教職人生を終えた今、これまで多くの皆様からいただいたご支援とご厚情に、心より感謝して

ります。

退職後は、盛岡市教育研究所ひろばモリーオに勤務し、さまざまな思いを抱える子どもたちと向き合う日々を送っています。新たな環境の中で、これまでの経験が今につながっていることを実感するとともに、幸せな時間の過ごし方を実感しております。子どもたちと向き合う中で、自分自身もまた学び続けていることを実感しています。

これからも一歩一歩、自分らしく歩んでまいりたいと思います。今後ともよろしくお願いいたします。

新たな出会いと学び



第25班 小田島 晃司

皆様にご支援をいただき、教員生活を終えることができました。お力添えを賜りました。

4月から、盛岡市立河北児童センターでお世話になっております。新たな出会いを大切に、日々学び続けることを大切にしてまいりたいと決意を新たにしております。岩手県公立学校退職校長会の、皆様のご指導を今後ともよろしくお願いいたします。

これからの人生をどう生きるか



第28班 君塚 裕子

この度、38年間の教員生活を終えることができました。たくさんの方々のご指導ご支援をいただきながら歩んだ38年間は、まさに人生の宝物です。今は感謝の気持ちにひたりながら、これからの人生の構想を練っているところです。

4月からは、盛岡市教育研究所教育相談室に勤務しております。今までとは違う立場で、盛岡市の子どものために働いて参りたいと思います。今後ともご指導よろしくお願いいたします。

児童生徒に寄り添いながら



第30-1班 照井 英輝

教員生活38年間は、生徒・保護者・地域のみならず、そして職場の先輩・後輩のみなさまから温かいご支

援・ご指導をいただき、大変充実したものとなりました。心より感謝申し上げます。

4月からは盛岡市教育研究所「ひろばモリオ」に勤務しております。学校に登校できない児童生徒に寄り添いながら、それぞれの子どもさんが自立できるように支援してまいります。

今後皆様からご指導を賜りながら学ばせていただきたく存じます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

「感謝を新たな挑戦に」



第30-4班 鈴木 木雅史

昭和63年に採用以来38年間勤めさせていただきました。上手いかわからないことの連続でしたが諸先輩や同僚の先生方のお力添えで、終えることができました。深く感謝申し上げます。

4月からは区界高原少年自然の家にお世話になっております。現在は、6月から受け入れる小学校の林間学校や自主事業の自然体験活動のサポートが出来るよう研修に励む毎日です。

今後は、今までの感謝を小学校を中心とした利用者のサポートという形で尽力したいと思っております。

新たな一歩



第31-1班 齋藤 研一

平成元年から37年間、たくさんの方々からご指導・ご支援をいただき、無事に役職定年を迎えることができました。今までの教員生活を振り返ると、

お世話になった方々に感謝の気持ちでいっぱいです。

4月からは定年延長して、盛岡市立土淵小学校教諭として勤務しております。不登校傾向や教室になかなか入れない子どもたちの支援を行う校内教育支援センターの担当として子どもたちが落ち着ける居場所作りを進めていきたいと思っています。今後ともよろしくお願い致します。

新たな出会いに喜びを



第34班 村田 浩隆

校長として一歩先のことを考え続ける日々を終えて充実感とともに安堵しております。退職校長会の先輩

の皆様方には、これまで管理職として独り立ちできるよう育てていただいたことに感謝申し上げます。

新年度を迎え、盛岡市教育研究所「ひろばモリオ」青山教室に勤務の縁をいただき、学校とは異なる立場での生徒との日々のふれあいに喜びを感じています。多様な価値観や考え方が尊重される社会の中、学校の柔軟な対応の一助となるべく、本会の一員として努めてまいります。

「初心」に立ち返って



第34班 中村 宗宏

昭和63年より38年間、多くの皆さま方のご指導ご支援をいただき、60歳の節目にたどり着くことができました。お陰様で、校長職を全うできましたのも、子どもたち、教職員、保護者、地域

の方々の御蔭であったと感謝の気持ちでいっぱいです。

役職退職を迎えるに当たり様々な選択肢を前にして、思いついて「初心」に戻ってみようと考えました。この春から、盛岡市立見前南小学校にお世話になっていきます。一教諭として子どもたちの前に立つのはとても新鮮でもドキドキしています。まずはできることからコツコツと…頑張ってみます。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

感謝して歩む



第34班 有馬 賢

平成元年、初任者研修のスタートと共に教員生活37年間、充実した教員人生を送ることができました。これまでの多く皆様との出会いに心より感謝申し上げます。

4月から盛岡市教育委員会生涯学習課でお世話になっております。岩手県公立学校退職校長会の皆様にご指導いただきながら新たな道で微力ながら頑張る所存でございます。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



おりおりに

■人間は生野菜が

本質的に好きではない



第23班 佐々木 孝志

あれはコロナの話題から熱さのひどい夏の(温暖化の!)ことに移ったあたり、現職時代から甘く見ていた自分の血圧が気になり出し、以来内科の患者となりました。夏のあまりの熱さにドキドキして、うまく体調をコントロールできていない自覚に危機感を感じました。

内科の先生から処方された薬を服用するほか、我が家の朝の味噌汁とサラダ作りを私が担当することから、自己改造のスタートです。血圧の安定に塩分対策は必須で、くせ者。まれにお弁当を広げて添付の醤油、ソースをびしゃびしゃかける方をお見かけしますが、それは勘弁。一般人の1日の塩分摂取基準は7g未満。カップ麺ひとつ飲み干すとほぼ終了です。私は材料そのものの味を主にし、塩分はその後において食の方法をとることにしました。

そこで、担当のサラダ作りです。昔読んだ漫画「美味しんぼ」のサラダ対決・海原雄山のセリフを思い出します。「人間は生野菜が本質的に好きではない。」そう言った雄山は野菜をより美味しくさせ、勝利します。塩分をおさえて野菜のよさを引き出すには?

市販されている梅干しの塩分は10〜15%。

伝統的な梅干しでも20%以上が多く、きゅうりの古漬け10〜20%。これらはすでに塩辛い無理な領域。昔、落語の長屋話で客が引けた正月明けに、ぎりぎりの(低)塩分で別に漬けた梅干しでしつぽり晩酌する話がありました。私はこの特別感に興味があり、それから3%の塩ぎりぎりの梅干しを作ったことがあります。熟成の味を出すには、時間をかけて寝かせて梅と塩との相乗効果を出して梅干しとします。が、できた「梅干し」は、梅という果実の保存に難がありました。長い冬を乗り切る保存食の野菜を確保するために、東北の漬物が悪名高い高塩分を続けて来たわけがここです。

味噌をつけたきゅうり、ちよつと振った塩で驚くほど美味しくなる野菜。野菜を美味しくいただくために塩分は必要。問題は塩の分量か。塩分過多の罪悪感から逃れ、「サラダ感覚で食べられる漬物」はないか?野菜の組み合わせで塩分を減らせないか?思い巡らしていたある時、塩加減が少し薄めの味噌汁に偶然舞茸を入れて見たら、味噌を足す必要のない味となる経験をしました。組み合わせも大事。

野菜に加える塩の量を変えて、試行錯誤を続けました。2% (塩の勝ち)、1.5% (塩分の不足)、そして野菜自体のよさが出る塩分の黄金比を見つけました。それはこの半分の塩分1・75%。サラダはこれに酢と香辛料の組み合わせで、加減していくのがいいようです。

今では内科の薬の量も減り、体調は安定しています。人間は野菜を本質的に好きではないかも知れないけれど…とつぶやきながら、台所で実験みたいな修行が続きます。

おしらせ板

■祝 春の叙勲

※瑞寶双光章

玉川 英 喜 様 (第32班)
小向 和 秀 様 (第34班)

教育界への多大なるご功績と
ご労苦に感謝し、お祝い申し
上げます。

■令和8年度合同研修・親睦会
次の通り開催しますので、ご確
認ください。

〔主催〕日本教育会岩手県支部盛
岡地区会、岩手県公立学校退職
校長会盛岡地区会

〔期日〕

7月7日(火)

〔会場〕

サンセール盛岡

〔講演〕

〔演題〕「ツキノワグマの生態と地
域ぐるみの被害防除―岩手県の
ある集落のチャレンジャー―」

〔講師〕岩手大学農学部名誉教授
青井 俊樹氏

〔日程〕

研修会受付 (15時～15時30分)

開会行事 (15時30分～15時40分)

講演 (15時40分～17時10分)

閉会行事 (17時10分～17時20分)

親睦会 (18時～20時)

※親睦会参加者は、会費6000
円です。(当日受付)

■令和8年度第52回県研修・親睦
会「二戸大会」は、次の通り開催
します。

〔期日〕

9月18日(金)

〔会場〕

二戸市民文化会館中ホール

二戸パークホテル

〔会費〕

研修会のみ

昼食

親睦会

宿泊希望の場合(朝食付き)

二戸パークホテル 8930円

二戸シティホテル 8300円

※宿泊される方には5000円の
補助金が支給されます。

〔日程〕

(1)記念公演(11時～12時30分)

〔演題〕

「世界を呑む!!南部美人の挑戦」

〔講師〕株式会社南部美人

五代目蔵元 久慈 浩介氏

○昼食(12時30分～13時15分)

(2)開会行事

(13時20分～14時10分)

(3)児童生徒の発表

(14時15分～14時55分)

①のへJrマーチングバンド

②二戸市立福岡中学校特設合唱
部・応援団

(4)閉会行事(15時～15時10分)

〔親睦会〕

二戸パークホテル(16時～18時)

※会場と二戸駅間のシャトルバス
を運行します。

「この指とまれ」事業 「ダム内部探検」に行こう!!

〔日時〕7月26日(日)

9時30分～12時30分

〔見学場所等〕

①岩洞第一発電所

落差400mの日本有数の発
電所管理事務所からインクラ
インにのって、地下300m
にある発電所を見学します。

※8月からは工事のため見学が
できなくなります。

②石川啄木記念館

新装になった記念館で館長(会
員)から啄木の生涯について
学びます。

③道の駅もりおか浜民「たみつ
と」の「啄木亭」で昼食をとり
ます。

※詳細は別紙案内にてご覧くだ
さい。

■令和8年度盛岡地区会研修・
慶祝会のお知らせ

〔日時〕11月14日(土)

〔会場〕サンセール盛岡

〔研修会〕13時30分から

演題・講師は後日お知らせし
ます。

〔慶祝会〕15時から

※慶祝該当の皆様

〔米寿〕

野崎 智恵子 様 (3班)

駿河 由紀子 様 (7班)

佐々木 純子 様 (11・1班)

編集後記



アジサイが誇らしげに咲いていま
す。梅雨明けはもうすぐでしょうか。
春から出役しているクマ。その対
策に地域も学校も苦慮しているよう
です。まるで、両者が命をまもるた
めの知恵比べをしているようで、自
然の仕組みが変わりつつあること
を感じます。

さて、巻頭言では、横沢幹雄氏が
旧友と「校歌」を歌うことで心が一
つになり、若き日にタイムスリップ
して心が震えたご経験を紹介してく
ださいました。皆様も校歌に対する
思いを共感されたことでしょうか。

「おりおり」では、佐々木孝志
氏が体調コントロールのために徹底
した「実験みたいな修行」に挑戦
されている姿に頭が下がりました。
新入会員の皆様からはお忙しい中、
快く原稿をお寄せいただき大変
ありがたうございました。
玉稿をいただきました皆様に感謝
申し上げます。

鳥羽 三 治 様 (17-1班)	及川 邦 子 様 (17-2班)	小水 邦 子 様 (18班)	櫻 糺 毅 様 (28班)	和村 義 典 様 (30-1班)	新沼 敏 哉 様 (7班)	増田 文 男 様 (11-1班)	佐々木 保 子 様 (15班)	澤村 憲 照 様 (25班)	篠田 宜 道 様 (30-1班)	花 籠 和 博 様 (事務局直属)
------------------	------------------	----------------	---------------	------------------	---------------	------------------	-----------------	----------------	------------------	-------------------